

答申(部会長案・修正・概要)

資料2 (別紙)

1 背景

三重の
教育

- 三重県教育施策大綱
- 三重県教育ビジョン
- 県立高等学校活性化計画

三重の
現状

- 中学校卒業生数の減少
- 専門学科の生徒の割合が全国比で大きい
- 人口が県内全域に分散
- 通信制課程の生徒の増加
- 卒業後就職する生徒の割合が全国比で大きい
- 学校施設の老朽化が著しい

2 基本的な考え方

生徒ファースト

生徒にとって豊かな学びを提供することを第一の目的とする

- 生徒の多様な学びのニーズに応える選択肢を生徒が無理なく通学できる圏域内に配置する
- それぞれの学校において多様な学びの選択肢を提供する
- 価値観の異なる多くの級友と出会える環境とする

生徒が希望する学びを
選択できる環境を

3 学びの在り方

(1) 課程

- 異なる課程の高校の連携
- 複数の課程を一つの高校に設置し、課程間を柔軟に行き来する制度の導入

(2) 学科

- 普通科のコースの充実
- 普通科と専門学科との併設
- 総合学科の設置

(3) 学校施設

- 共用空間の設置等の学びを支える教育環境の整備
- ※県立高等学校の再編の議論と一体となって進めることが必要

(4) 地域・企業との連携

- 高校と地域や企業との連携した取組の推進

(5) 県立高等学校の強みを生かした取組

- ICTを活用した遠隔授業の実施
- 学校間連携
- 県立校全ての生徒を対象とした体験型学習等の実施

4 配置及び規模の在り方

通学条件

通学時間は、できれば60分以内、少なくとも90分以内

地域における配置

それぞれの地域において多様な学びの選択肢を提供

規模の必要性

- 多様な学びの選択肢の提供
- 価値観の異なる多くの級友
- 部活動や学校行事の充実

一定の規模があることが望ましい

適正規模

1 学年4学級～8学級
〔1 学年4学級以上の配置が難しい地域：1 学年2・3学級〕
※大学進学ニーズに応えるためには1 学年6学級以上

5 子どもたちに選ばれる県立高等学校

- スクール・ミッション、スクール・ポリシーの分かりやすい発信
- コミュニティ・スクールなどを通じた保護者、地域住民の意見の反映